

安全な道路環境をめざして — 10 —  
**SAFETY FOCUS**

# スピードが出やすく自転車利用者を認識しづらい交差点

「SAFETY FOCUS」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下図参照)に取り上げるのは、岡山県内で6人の方が「みんなの意見」を投稿している「大供」交差点だ。ここでは、スピードが出ているクルマが多い(3人)、歩行者/自転車の飛び出しが多い(3人)という投稿が寄せられている。また、急ブレーキ多発地点の表示も出ているこの場所では、平成26年中に交通事故が22件発生しており、そのうち10件は四輪車対自転車の事故となっている。

●この地点で発生した事故件数

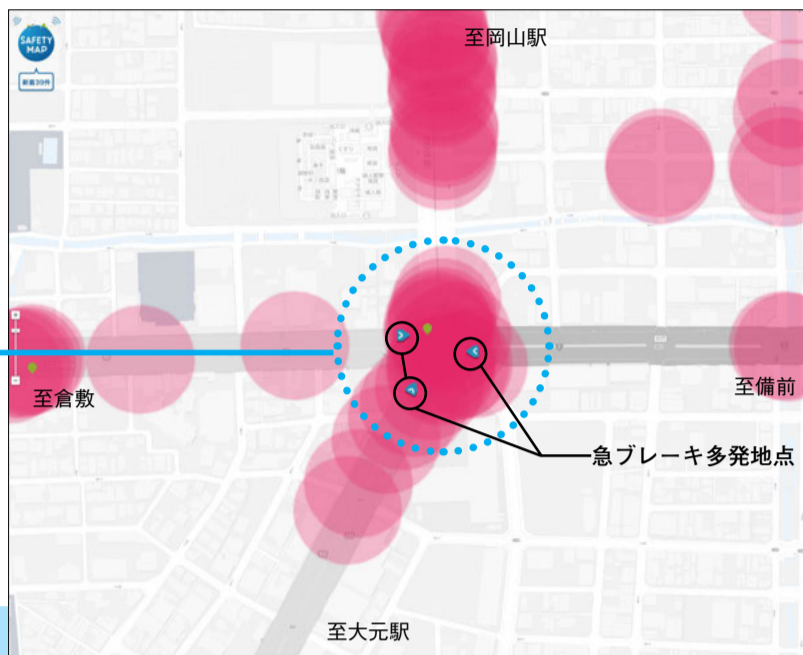
四輪車対四輪車/二輪車(追突)	11件
四輪車対自転車(左折時)	9件
四輪車対自転車(右折時)	1件
四輪車対四輪車(その他)	1件

※平成26年中 岡山県警察本部提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い	3人
歩行者/自転車の飛び出しが多い	3人

※平成27年9月30日時点



## 現場をたずねる

FOCUS エリア  
 岡山県岡山市北区「大供」交差点

今回訪れた「大供」交差点は、岡山県内で交通事故多発地点の第1位となっており、平成26年中の人身事故発生件数は22件にのぼった。

国道2号と岡山駅方面から南北に走る市役所筋という、いずれも片側3車線の主要幹線道路が交わる場所。1日を通して車両の交通量が多く、特に朝の通勤時間帯は自転車利用者の姿が目立った。行きかう自転車利用者や歩行者を優先させるため、車道では時折渋滞が発生していた。



スピードを出して横断歩道に進入する自転車利用者が目立った

## 通行の流れが落ち着くと危険な場面が現れる

片側3車線という広い幹線道路が接続している交差点は、観察を始めた朝7時から多くの車両が行きかっていた。交差点を右左折するクルマの多くは横断歩道(自転車横断帯を含む)進入時、周囲を注意深く観察して通行しており、多くのドライバーがこの場所の危険性を認識している様子だった。しかし、横断歩道を通行する歩行者や自転車利用者が少なくなると、速いスピードで通過したり、減速が不十分のまま右左折したりするクルマが見受けられた。一方、自転車利用者も信号の青点滅から赤への変り目で、スピードを落とさず、横断歩道に進入する場面があった。

8時を過ぎると、歩行者や自転車利用者が増えてくる。自転車利用者は交差点を通過する際、歩道を経由する必要がある。そのため、歩道上で自転車同士、あるいは自転車と歩行者が接触するケースがあった。



自転車通行帯は交差点手前で歩道に誘導される。そのため横断歩道は歩行者と自転車利用者が交錯してしまう



横断歩道に歩行者がいても並進して走行する自転車



歩道で自転車同士が接触する場面もあった



左折専用レーンには「歩行者注意」の路面表示がある



クルマの存在を確認せず、信号機のない横断歩道に進入する自転車



横断歩道手前で長く車列が連なる場面もしばしば見受けられた

## 安全確認を徹底できる環境づくりで歩行者と自転車利用者を守る

「大供」交差点に隣接する信号機のない横断歩道には、接近するクルマの存在を知らせる電光掲示板が設置されている。また、3方向に左折専用レーンを設けて交差点内の渋滞解消を図るなど、かねてから道路環境整備が実施されていた。こうした対策により慎重な運転をしているドライバーが多く見られたが、ヒヤリとする場面は自転車や歩行者の流れが途絶えたタイミングに起きている。見通しがよくなった時ほど、周囲の状況確認を徹底するべきだ。

歩車分離式信号の導入は、車両の通行量が多いため現実的ではないだろう。道路沿いに設置した看板や街頭の柱によって、歩道から横断歩道に向かう自転車を発見しにくいと思われる場所もあったので、クルマから歩道の状況が把握しやすい環境整備を期待したい。岡山県警察では今後、さらなる安全対策を検討していく考えだ。



携帯電話使用や二人乗りといった危険な運転をする自転車利用者が散見された

### 「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

SAFETY MAP

ホンダ セーフティマップ

http://www.honda.co.jp/safetymap/

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危険と感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。